



て うご のう うご めいれい  
**手を動かすとき、脳が動けと命令をだすのはなぜ**

て うご だいのう めいれい  
**手を動かすのは脳の命令**

たとえば、あなたのあしに力がとまって血をすったとします。思わず、かゆいと感じますね。このかゆいという感じを伝える神経を、知覚神経といいます。かゆいというしらせがひふから知覚神経を伝わって、せきずいを通り、大脳にとどくのです。

すると脳は、このかゆさは力にさされたかゆさだと考え、目に命令して、どの位置か、どんな早さでたたけばよいかをしらせるように伝えます。

脳はそのしらせを受け取って、正しく手を動かす方法を考え、手に命令します。

だいのう めいれい て つた うんどうしんけい  
**脳の命令を手に伝えるのは運動神経**

脳からの命令通りに、手で力をたたかせるのが運動神経の働きです。また、あとで、ますますかゆくなったとき、かゆいところを上手にかくため、体の曲げ方のしらせが脳にいき、脳は指を動かすきん肉に命令するのです。

運動神経が信号を伝える速さは、1秒間に120メートルだそうです。

(監修 保志 宏)

